

Doctor 医局リー



みどり病院 医師 脇田 健史

がん検診受けてみませんか？

国民の2人に1人ががんになり、4人に1人ががんによって亡くなっています。しかし、がん検診を受けることで、がんによる死亡を今よりも減らすことができます。厚生労働省では、がん検診の受診率を60%以上とすることを目標に、がん検診を推進しています。日本におけるがんによる死亡者数は年間37万人を超

え、死亡原因の第1位です。そのうち、主に20歳～60歳代前半の働く世代の方のがん死亡者数は全体の約1割ですが、40歳を過ぎると年齢とともにがん死亡者数は増えていきます。がん検診を受けることは、がんを無症状のうちに早期発見・早期治療し、がんが早期に発見されることを防ぐことにつながります。私はみどり病院で初期研修を終えて、そのまま内科外来など担当させていただいております。外来患者さんへ、定期的ながん検診をおすすめしております。胃がんに対しては胃カメラ、大腸がんに対しては便潜血検査、胆嚢

がんや膵臓がんなどに対しては腹部エコー、肺がんに対しては胸部レントゲンをおすすめしています。初期のがんの場合、症状が出ないことが多いです。今は体調が問題ないから大丈夫と思わず、気軽に検査を受けてもらえたら嬉しいです。私も胃カメラに携わることがあり、早期の食道がんや胃がんが見つかることがあります。がんを早く見つけることは不安ではなくチャンスだと思ってください。是非外来でお待ちしております。ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

今年も新入職員が入職しました

岐阜勤労者医療協会 専務理事 大橋 正和

4月より岐阜勤労者医療協会に、初期研修医1名、看護師5名、臨床工学士1名、理学療法士1名、事務1名、看護助手1名、計10名の方々が新たに入職しました。4月1日～2日にかけて新入職員オリエンテーションを開催し、当法人の理念や歴史、各事業所での取り組みなどを学びました。無差別、公正な医療と介護を実践することで、地域のみなさんの健康やくらしに貢献していくことが私たちの最大の使命です。新入職員のみなさんにもその理念が十分伝わったものと思います。職員採用に難渋している昨今にもかかわらず、多くの職員を迎え入れることができたことを非常に嬉しく思います。今後の新入職員の活躍にご期待ください。



みどり病院 事務長就任挨拶



みどり病院 事務長 渡邊 英右

皆様には、日頃より当法人の運営にご参加、ご協力いただき、誠にありがとうございます。このたび、2026年4月1日よりみどり病院の事務長に就任いたしました。よろしくお願い致します。皆様からの温かいご理解とご支援をいただき、2024年5月にみどり病院はリニューアル致しました。当院は大きな病院ではありませんが、だからこそできる「顔の見える医療」や「きめ細やかな対応」を大切にしながら、これま

地域医療を支えてまいりました。その一員として、このバトンを引き継ぐことになり、身の引き締まる思いと同時に、大きなやりがいも感じております。「子どもから高齢者まで地域にひらかれたみんなにやさしい病院」を掲げて、現場の声や地域の声を大切に、風通しの良い病院運営を目指してまいります。医療・介護福祉など、様々な分野としっかり連携しながら、「困ったときはまず相談しよう」と思っていただけの病院であり続けたいと考えております。これからも地域に根ざした病院として、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

Nurse

みどり病院透析センター 課長 近藤 祐子

「安心して相談できる」ことを大切に

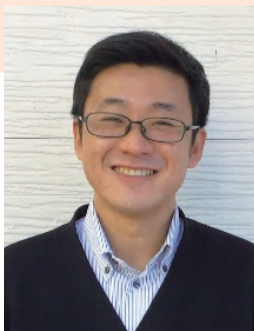
新病院への移転に伴い透析センターはみどり病院に統合され、2年が経過しました。地域の患者様が安心して自宅から通院しやすいように送迎サービスを活用しながら血液透析・腹膜透析を行っております。現在、血液透析・腹膜透析患者様は92名おられます。透析患者様は下肢に傷ができてやすく、最初は小さな傷でも治療するタイミングが遅くなると驚くような早さで悪化し、下肢切断の危険性が高くなります。透析室では下肢の傷の悪化防止・下肢切断にならないために「フットケア」を行っております。フットケアでは足の状態・皮膚の状態の確認を行い、小さな傷でも医師の診

察・処置方法の検討を行っております。場合によっては専門の医療機関への紹介が必要となるケースがあります。継続的に自宅などでも処置が必要となることも多く、本人様ご家族様・介護サービス職員が安心して処置ができるよう、説明用紙・連絡ノートなどを活用し、早期治療を目指し対応しています。また、透析治療は長期間継続されます。「患者さんにとって、安心して相談できる」ことを大切に、時にはじっくり患者様の話、訴えを傾聴し、スタッフみんなで「透析治療を継続するにはどうしたら良いか」など話し合いを行って

透析室には看護師10名・臨床工学士8名・ケアワーカー2名・医療事務2名・医師など多職種が在籍しています。多職種と協働しながら、さらに地域の介護施設・薬局などとも連携しながらケアに取り組みでいきたいと思っております。



華陽診療所 事務長就任挨拶



華陽診療所 事務長 岩井 宏樹

その思い出深い華陽診療所で働けることに喜びを感じております。皆様への感謝の気持ちを大切に、より良い診療所作りに邁進してまいります。今後ともよろしくお願い致します。



この度、4月より華陽診療所の事務長に就任しました。岩井宏樹と申します。華陽診療所には以前に学生担当として、

高校生や医学生の実習で度々訪れておりました。当時、学生たちを温かく迎え入れてくださった地域の皆様や患者様の優しさ、診療所のアットホームな雰囲気は今も鮮明に記憶に残っております。